

2015/12/9 16:10

【別添様式2】 支持層到達状況調査及びセメントミルクの使用状況調査の状況

番号	82 件該 当		都道府県	市区町村	特定行政庁	物件名	用途	所有者等 又は デベロッパー	元請け工事施工者	データ流用等			支持層レベル(m)		12条5項の 報告期限	支持層到達状況調査 【電流計】			特定行政庁と しての支持層 到達状況の妥 当性の判断 (判断した日 付を記載)	セメントミルクの使用状況調査 【流量計】			「データ流用杭の 比率が過半又は 30本以上」、「アス ペクト比が4以 上」の場合は、概 要を記載	特定行政庁とし てのセメントミル クの使用状況の 妥当性の判断 (判断した日付 を記載)
										全杭数	流用のあった杭数		最深値	最浅値		類型A～D	説明資料の受領 H27.12.8付け 事務連絡1.(1)参照 1:受領済み 2:未受領	左記の概要 (追加でボーリング調査等を実施する場合 は、そのスケジュールも記載)		類型A～B	説明資料の受領 H27.12.8付け 事務連絡1.(2)参照 1:受領済み 2:未受領	左記の概要		
											電流計	セメント ミルク												
1	○		東京都	千代田区	東京都	中央合同庁舎3号館	事務所			210	10	5	GL-16.0m	GL-14.5m	11月26日	B	1	設計段階のボーリング調査で支持層の起伏が大きいことがわかったため、杭施工前に全ての基礎フーチング毎にラムサウンディング調査を実施し、支持層深さを確認した上で、各支持層深さをもとに杭長を決定し、杭を製造・施工した。		B	1	セメント受払表の記録(数値)について、以下の要領で施工記録との整合性を確認し、セメントの入荷量の総量が設計上必要なセメント量の総量を上回ることを確認した。 ・受払表のセメント入荷量とセメント納品書の日付と重量 ・受払表の杭一本あたりのセメント使用量と施工計画書のセメントミルクの計画配合(セメント量)	データ流用杭の比率が85%のため、工事施工者等による傾斜、ひび割れ等の経過観察を求めた。	
2																								
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								
16																								

左側3欄への記載が終わり、調査結果が概ね妥当と判断できる段階になりましたら、本欄に日付を記載する前に、国交省まで連絡

左側4欄への記載が終わり、調査結果が概ね妥当と判断できる段階になりましたら、本欄に日付を記載する前に、国交省まで連絡

左側3欄への記載が終わり、調査結果が概ね妥当と判断できる段階になりましたら、本欄に日付を記載する前に、国交省まで連絡

左側4欄への記載が終わり、調査結果が概ね妥当と判断できる段階になりましたら、本欄に日付を記載する前に、国交省まで連絡